

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-72	高等学校	家庭	家庭基礎	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
6・教図	家基・313	高等学校 家庭基礎 グローバル&サステイナビリティ		

1. 編修の趣旨及び留意点

学習指導要領に示された「目標」および「内容」にもとづきながら、高校生が、家庭基礎の学習を通して、グローバルな視点を持ち、他者と協働しながら持続可能な社会を築いていくことができるよう編修しました。学習を通して、生活にかかわるさまざまな文化やつながり、かかわりを再認識し、主体的に自らの生活を創造していけるようになることを目指しています。

2. 編修の基本方針

高校生が、小中高の家庭科の学びの機会を大切にし、以下のことに気付くようにと願いを込めて編修しました。

- ①今、生きている青年期を、生涯の一時期として捉えられるように。
- ②生活という営みを、総合的に捉えることができるように。
- ③自分たちの生活と、地域・社会とのつながりを実感し、主体的に行動できるように。
- ④男女が協力して生活をつくっていけるように。
- ⑤主体的に考えて、行動できる方法を身に付け、行動することができるように。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
はじめに 高校生のみなさんへ	<ul style="list-style-type: none"> ・「グローバル化」「サステイナビリティ」という、これからの社会を生きる上で無視することのできない2つのキーワードと、家庭基礎の学習を進めながら持ってほしい5つの視点を示し、それらを意識しながら学習を進められるようにしました。 (第1号, 第5号) 	口絵1
登場人物の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生に親しみを持って学習してもらえるように、高校生とその家族などのキャラクターを登場させ、ナビゲーターとしました。キャラクターとして、さまざまな年齢の人物や、外国人、動物を登場させることにより、生涯発達の視点や共生の視点を盛り込みました。(第3号, 第4号) 	口絵2
小・中学校の学習の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭基礎の学習の前に、これまでの学習を振り返り、これからの学習に見通しを持つことができるように、小学校家庭科、中学校技術・家庭 家庭分野の学習を一覧にして示しました。(第1号) 	口絵3

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>I 家族・地域・社会との共生</p> <p>第1章 青年期の自立と家族</p> <p>第2章 子どもの発達と保育</p> <p>第3章 高齢期の生活</p> <p>第4章 共生社会と福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生が、人の一生を生涯発達の視点で捉え、青年期の今をどのように生きるか主体的に考えることができるように、イラスト資料の表現を工夫して、具体的にイメージしやすくしました。 (第1号, 第2号) ・男女が協力して生活をつくっていけるように、男女共同参画社会基本法やデートDVなど、具体的な資料を掲載しています。(第3号) ・イラストや写真資料には、男女を平等に登場させるよう配慮しました。男性の育児や介護については、より積極的な参加を促すために、コラムで具体的な事例を取り上げました。(第3号) ・家庭生活を支える基本的な法律や社会の仕組みがわかり、適切に活用できるように、イラストや写真を用いてやさしく表現しました。(第3号) ・セクシャル・マイノリティや、海外事例も含む多様な生き方を示すなど、すべての高校生が自己肯定感を持って生活を創造していけるよう配慮して編修しました。(第3号, 第5号) ・各ライフステージごとに、他者と協力しながら自分らしい生活を築いていけるように、共生の視点や地域での社会参加を呼びかける内容を豊富に盛り込みました。(第4号, 第5号) 	<p>p.5, 6, 18~19, 24~25, 50など</p> <p>p.23など</p> <p>口絵2ほか全体 p.49, 61など</p> <p>p.18~19, 46~47, 64~65など</p> <p>p.7, 12, 42~43など</p> <p>p.46 (サスティナビリティコラム), 62, 64~68など</p>
<p>II 生活の自立</p> <p>第1章 食生活と自立</p> <p>第2章 衣生活と自立</p> <p>第3章 住生活と自立</p> <p>第4章 消費生活と経済</p> <p>第5章 ライフスタイルと環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康で安全な衣食住生活を営むために必要な基礎的・基本的な知識や技術を系統的に学習できるように、各章ではわかりやすい見出しを立て、シンプルな構成で展開しました。(第1号) ・地域の生活文化や、国際社会と自分の生活とのつながりに気付き、広い視点で生活を捉えられる様に、海外の具体的な事例やつながりを意識できる資料を多数掲載しました。(第5号) ・自分を含めた家族の生活費や、働き方とお金の関係、計画的なお金の準備の重要性などを具体的に示し、生涯を見通した経済の計画と実践が適切に行えるように工夫しました。(第2号) ・持続可能な社会を目指し、自分のライフスタイルを見直して、環境に配慮した行動を実践できるように、参考となるさまざまな実践例を示しました。 (第3号, 第4号, 第5号) ・海外生活の経験を持つ人や、社会で活躍する人からのメッセージを取り上げました。身近な大人の暖かなまなざしに気付き、各世代の人々と協力して、広い視野を持って主体的に社会の形成に参画できるよう配慮しました。(第3号, 第5号) 	<p>p.72~161</p> <p>p.74, 102, 117, 126, 134, 158, 159, 179など</p> <p>p.162~163, 165, 169など</p> <p>p.117, 120~121, 142~143, 160, 180~185など</p> <p>・ p.159, 185</p>

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
人生を設計してみよう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の生活に向かって目標を立て、展望をもって生活することの重要性を認識できるようにしました。(第2号) ・ 不測の事態にも柔軟に対応することの必要性や、広い視野をもって生活を創造していくことの重要性などについて気付くことができるように、図表を用いて具体的な例を示しました。 (第1号, 第3号) 	p.188~191
学んだことを生活に生かそう ホームプロジェクトと 学校家庭クラブ活動 ホームプロジェクトのテーマを探そう！	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各自の生活の中から課題を見出し、課題解決を目指して主体的に計画を立てて実践する問題解決的な学習活動がしやすいように、イラストや写真を用いて具体的に示しました。(第3号) ・ 地域で自分にできることを見つけ、行動できるように、各地域での高校生の活躍の事例を具体的に紹介しました。(第2号, 第3号, 第5号) 	p.192~195 口絵4
留学生ジョンの日本見聞録	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふだん無意識に過ごしている日本の伝統や文化を再認識できるように、留学生の目を通した多くの事例を写真で取り上げました。価値観の押しつけにならないように配慮し、国際社会の中で自国や他国の文化を尊重し、さらに創造していけるよう表現方法を工夫しました。(第5号) 	口絵5~6

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

生徒が親しみをもって学習できるように、架空の高校生の家族などのキャラクターを設定し、多くの場面に登場させました。自分の生活を見つめ直すヒントや、学習の広がりきっかけとなることをねらっています。

中学校の学習とのつながりを考慮し、同じ内容を扱う場合には発達段階に応じた表現方法となるよう配慮しました。

カラーバリアフリーに配慮し、ユニバーサルデザインフォントを用いるなどして、読みやすく、使いやすい教科書を目指しました。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
27-72	高等学校	家庭	家庭基礎	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
6・教図	家基・313	高等学校 家庭基礎 グローバル&サステナビリティ		

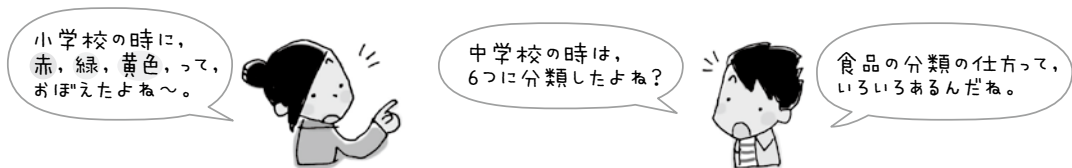
1. 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領に示された「目標」および「内容」にもとづきながら、高校生が、家庭基礎の学習を通して、グローバルな視点を持ち、他者と協働しながら持続可能な社会を築いていくことができるよう編修しました。学習を通して、生活にかかわるさまざまな文化やつながり、かかわりを再認識し、主体的に自らの生活を創造していくことを目指しています。

①家庭科の学びのつながりを大切に

- ・中学校技術・家庭（家庭分野）教科書と同じ著者、同じ編集者、同じイラストレーターなどが中心となって編修を進めました。生徒に中学校教科書の「続き」として捉えてもらえるように、同じ学習内容を扱うときなどには、生徒の発達段階に応じた表現となるよう配慮しました。
- ・教科書の各所に、小学校や中学校で学習したことを振り返らせるキャラクターのつづやきを掲載しました。
- ・小中学校の学習の振り返りができるページ（口絵3）を設けました。
- ・高校生が、これまでの小中学校の学習を生かしつつ、家庭基礎の学習を、主体的・能動的に広げていくことができるように（アクティブ・ラーニング）、グループやクラスで話し合ったり、生徒同士で協力しながら進める実習やワークを多く盛り込みました。

〈キャラクターのセリフの例〉



②キーワードは、「グローバル化」と「サステナビリティ（持続可能性）」

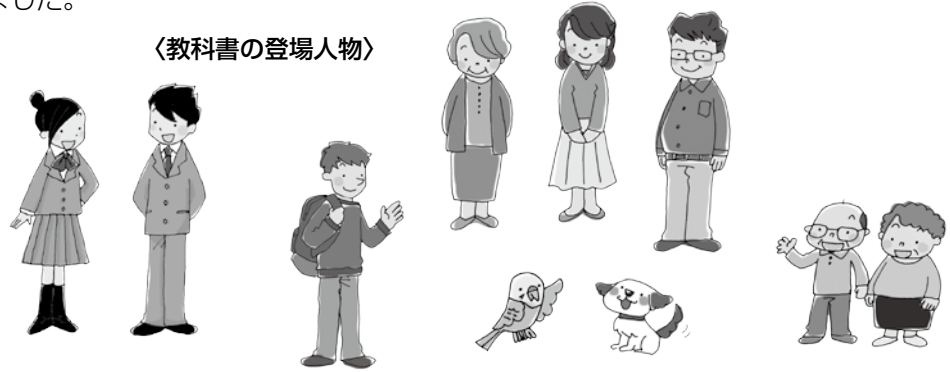
- ・「グローバル化」と「サステナビリティ」は、これからの社会を生きる上で意識すべき重要なキーワードであると考え、各章ごとに関連の内容をコラム形式で掲載しました。
- ・ふだん無意識に過ごしている日本の**伝統や文化**を再認識できるように、さまざまな資料を掲載しています。国際社会の中で自国や他国の文化を尊重し、さらに創造していくことを目指しました。
- ・持続可能（サステナブル）な生活のために、**ライフサイクルアセスメント**の考え方を適宜示すなどして、日常生活の中で自覚できるよう配慮して編修しました。



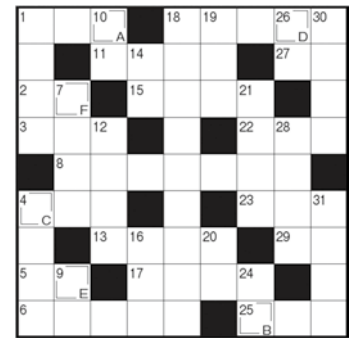
③ 高校生の視点を大切に

- ・ 高校生が親しみを持って学習ができるように、ともに学習を進める**キャラクターを設定**しました。キャラクターが、各所でそれぞれの立場から学習内容にからめた言葉をつぶやき、高校生が家族・家庭生活についてふりかえり、行動するきっかけとなるように工夫しました。
- ・ キャラクターには、さまざまな年代の人、離れて暮らす祖父母、外国人、動物なども登場させ、**生涯発達**の視点や**共生**の視点などを盛り込みました。

〈教科書の登場人物〉



- ・ 限られた時間の中で効果的に家庭基礎の学習が進められるように、内容を**厳選**しました。
- ・ 「**学習の目標**」を示し、重要な語句を太字にすることなどにより、**基礎的・基本的な学習内容を明確**にしました。
- ・ 簡潔な文章表現となるよう心がけました。
- ・ パズルを解きながら学習のふり返りができる**クロスワードパズル**を掲載するなど、楽しく学習ができるよう工夫しました。



- ・ 高校生が、学習内容について**実感を持って理解**できるように、イラスト・写真・図表・コラムなどの資料は十分な量を掲載し、表現方法を工夫しました。
- ・ 国際社会で活躍する人や、地域で活躍する人などからの**高校生へのメッセージ**をいただき、社会参加についてを呼びかけてもらいました。**キャリア教育**の充実にもつながるよう配慮しました。

Sustainability
サステナビリティ


サスティナブルデザインを考えてみよう
(会社社長の新井さんと、社員の遠藤さんのお話)

私たちの会社では、太陽の光を照明として使う製品の開発・販売をしています。日中は電気を使わずに採光ができるので、省エネルギーに役立ちます。

鏡の組み合わせで光を操るといったシンプルなお仕組みですが、太陽の光を思い通りに扱えるようになるまで、試行錯誤をくり返しました。光の基礎は専門書から学び、太陽の光を模擬したプログラムを自社でつくりました。研究しました。今では、電気を使わずに光の強さを調節したり、印象的な空間を演出したりすることもできるようになりました。サンプルに見えることでも、つきつめていくと面白い発見があり、さらに磨り下げるものなのです。そして、それがお客様や地球環境のためになると、非常にやりがいを感じます。

実は、この仕事を始めた人たちは全員専門外。学校で学んでいる時には役に立たないと思っていたことが、仕事に大いに役立っています。興味を持ったことを磨り下げ、アイデアを大切に育ててみてください。

新井さん (左) と 遠藤さん (右)

左：木漏れのような事務所（東京都） 右：太陽の光がふりそそぐ幼稚園の昼内広場（滋賀県）

- ・ 「一人ひとりの行動が社会を変える大きな力になる」ということを、教科書全体を通して各所で取り上げています。高校生が主体的に行動していくことができるようにという願いを込めて編修しています。
- ・ 学校家庭クラブ活動の実践例として**地域で活躍する高校生の姿や、高校生が開発に関わった商品の写真**を取り上げ、「自分には何ができるだろうか」と具体的に考えられるようにしました。



<各内容別のおもな特色>

I 家族・地域・社会との共生

第1章 青年期の自立と家族

- ・一生の中での**青年期**という時期を的確に捉えることができるように、文章だけでなく**ビジュアルな表現**を用いて繰り返し示しました。⇒p.5図2, p.6図3, p.18~19図16など
- ・セクシャル・マイノリティや、海外事例も含む多様な生き方を示すなど、すべての高校生が自己肯定感を持って生活を創造していけるよう配慮して編修しました。⇒p.7図4, p.12結婚・婚姻の変化など
- ・家族との**コミュニケーション**について、振り返ったり、これからの生活に生かしたりしやすいように、ワーク的な内容を掲載しました。⇒p.16~17
- ・家族・家庭生活を支える仕組みや法律については特に丁寧に扱い、これからの生活の中で生かしていくことができるように配慮しました。⇒p.18~22
- ・**男女が協力**して生活を作っていくことの重要性について、1ページ大の大きなコラムで考えさせています。⇒p.23

第2章 子どもの発達と保育

- ・ふだん子どもとふれ合う機会の少ない高校生が、子どもの発達の様子や、その他の学習内容について理解しやすいように、**子どものイラストや写真を多く掲載**しました。⇒p.24, 28~29, 30~31など
- ・実際に子どもとふれ合ったり、子どもの食事を作ったりする実習を適宜盛り込み、**体験的に学習**できるよう配慮しました。⇒p.34, 36, 38など
- ・障がいのある子どもや、海外の子ども、男性の育児などについてコラムで取り上げ、子どもも大人も住みやすい社会作りの重要性について考えさせています。⇒p.46, 48, 49など
- ・出産・育児について、さまざまな視点から考えられるようなページをつくりました。⇒p.42~43

第3章 高齢期の生活

- ・高校生が、「高齢期」「高齢者」について無関心にならず、主体的に学習することができるよう、図表や資料、コラムなどを多く掲載し、表現方法を工夫しました。
- ・アイマスクやゴーグルを着用して高齢者の心身の特徴を理解する「高齢者疑似体験」や、高齢者へのインタビューなどの実習を適宜盛り込み、**体験的に学習**できるよう配慮しました。⇒p.52, 57など
- ・高齢期を支える社会的な仕組みや、**高校生にも参加できる支援活動**などについて具体的に示し、これからの生活で積極的に生かしたり参加したりできるようにしました。⇒p.58~61, 62など

第4章 共生社会の実現のために

- ・高校生が、学習を通して共生社会の実現のために社会の一員として何ができるか考え、具体的に工夫することができるように、本文や図表資料に加えて、キャラクターのセリフでもヒントを掲載しました。高校生が、福祉を他人ごとと捉えず、「ある時は人を支え、ある時は人から支えられる相互依存の関係にある」ということに気付くよう、本文や図で示しました。⇒p.65, 66など
- ・**ユニバーサルデザイン**の製品の例や、高校生にも参加できる**ボランティア活動**の例、**地域福祉の事例**などを写真で取り上げ、イメージ豊かに学習できるよう配慮しました。また、いずれは社会でそのような**製品を生み出す側**となることや、積極的な社会参加の重要性について気付くように配慮しています。⇒p.66, 69など

<各内容別のおもな特色 つづき>

Ⅱ 生活の自立

第1章 食生活と自立

- ・「和食」を中心に、食にかかわるさまざまな**伝統文化**を、写真を用いる等して丁寧に取り上げています。自国の伝統文化を再認識し、新しく**創造**していけるよう表現方法を工夫しました。 ⇒p.73, 75など
- ・**グローバル化**、**情報化**が進む現代において、**安全で健康的な**食生活を営むために、栄養、食品、調理、食品衛生などについて**科学的に**理解できるよう、図表などの資料を豊富に掲載しました。また、コラムなどの読み物や、「チャレンジ」などのワークも掲載し、科学的な理解を助ける工夫をしています。
⇒p.76~85, 90, 119など
- ・小中学校からの学習の**積み重ね**を大切に、**適宜学習**のつながりを示しました。 ⇒p.94, 97など
- ・日常生活の中で、食に関する知識や技術を生かし、より豊かな食生活をつくっていくことができるように、食の学習が**系統的**に進められるよう配慮しました。たとえば、栄養と献立と調理の学習を効果的につなぐために、「**主食**」「**主菜**」「**副菜**」「**汁物**」「**その他**」という項目に分けて**調理実習題材**を掲載し、それぞれの料理を組み合わせた献立例や、食品の概量などを掲載しました。 ⇒p.104~115ページ

第2章 衣生活と自立

- ・衣服の入手、着用、手入れ、処分といった**衣生活の成り立ち**や、衣服の資源としての循環を示すことにより、**持続可能な社会**を意識しながら主体的に衣生活をつくっていけるような構成にしました。 ⇒p.120~121
- ・健康で快適な衣生活をつくっていけるように、資料を豊富に掲載し、**科学的な根拠**を示しました。
⇒p.124~125, 128~135など
- ・ジーンズのリメイク作品例や、しみのついた衣服の染め直しの写真、アップサイクルの考えを示すなどして、**持続可能でより豊かな衣生活を営んでいくためのヒント**を多数掲載しました。 ⇒p.142~143など

第3章 住生活と自立

- ・**安全で環境に配慮**した住生活を営んでいくことができるように、**科学的な根拠**を図表などでやさしく示しています。 ⇒p.150~155など
- ・「海外での暮らし」や、「スマートコミュニティ」「エコアパート」、「コレクティブハウス」「シェアハウス」など、イラストや写真を用いてさまざまな住生活の事例を紹介しました。さまざまな選択肢がある中で、**自分らしい住生活**を営むことができるように配慮して編修しています。 ⇒p.159, 160~161など

第4章 消費生活と経済

- ・自分を含めた**家族の生活費**の計算や、**働き方とお金**の関係、**リスクとお金**、**ファイナンシャルプランニング**の考え方を示したりすることなどにより、生涯を見通したお金の管理や計画の重要性について考えられるようにしました。 ⇒p.163, 169など
- ・グローバル化の中で、適切な意思決定のもとに、「**自分たちが消費者市民社会をつくっていく主人公である**」という自覚を持って行動できるように、さまざまな場面で気づきを促す記述を盛り込みました。

第5章 ライフスタイルと環境

- ・持続可能な社会の実現には、一人ひとりのライフスタイルの改善とともに、**社会システムづくり**が非常に重要であるということに気付くようにしました。 ⇒p.182~183など
- ・持続可能な社会を目指し、主体的に行動できるように、「**消費者としてできること**」として、具体的な方法を示しました。 ⇒p.184~185
- ・これからサステナブルデザインを生み出していく**主体**となって活躍してほしいという願いを込めて、企業の方からの高校生へのメッセージを取り上げ、呼びかけてもらいました。 ⇒p.185

人生を設計してみよう

- ・単なるライフイベントの羅列に終わらず、具体的に自分の人生を設計していけるように工夫しました。

学んだことを実生活に生かそう（ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動）

- ・ホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動の学習の進め方について、具体例を示しながら丁寧に掲載しました。
- ・高校生が社会で活躍している写真や、高校生のアイデアがもとになって商品化された例の写真を掲載し、具体的にイメージできるようにしました。 ⇒p.192~197

2.対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
I 家族・地域・社会との共生			
第1章 青年期の自立と家族	(1) ア	p.4~23	6
第2章 子どもの発達と保育	(1) イ	p.24~49	8
第3章 高齢期の生活	(1) ウ	p.50~63	5
第4章 共生社会と福祉	(1) エ	p.64~69, 口絵5~6	4
II 生活の自立			
第1章 食生活と自立	(2) ア	p.72~119, 口絵5~6	18
第2章 衣生活と自立	(2) イ	p.120~143, 口絵5~6	7
第3章 住生活と自立	(2) ウ	p.144~161, 口絵5~6	7
第4章 消費生活と経済	(2) エ	p.162~179	8
第5章 ライフスタイルと環境	(2) オ	p.180~185, 口絵5~6	3
人生を設計してみよう	(2) カ	p.188~191	2
学んだことを生活に生かそう	(3)	p.192~197, 口絵4	2
ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動			
計			70

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号 27-72	学 校 高等学校	教 科 家庭	種 目 家庭基礎	学 年
※発行者の 番号・略称 6・教図	※教科書の 記号・番号 家基・313	※教科書名 高等学校 家庭基礎 グローバル&サステイナビリティ		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項